

「令和8年度予算で検討中の主な取り組み（案）」に対する区民意見募集の結果について

「令和8年度予算で検討中の主な取り組み（案）」についての電子メール等による意見募集の結果は、以下のとおりです。

1 意見募集区分

(1) 電子メール等

・募集期間 令和7年12月5日～令和8年1月5日

・人数 12名

・件数 36件

(2) 区長と区民のタウンミーティング

・日時 令和7年12月22日（月）18時半～20時

令和7年12月23日（火）18時半～20時

・人数 29人（両日合計）

・件数 102件

2 意見概要

① 人と人がつながり、新たな活力が生まれるまちへの取り組み

No.	区民からの意見	区の見解・回答
1	（デジタル地域通貨事業の拡充） 区議会にて以前、「カードの発行も可能としたプラットフォームを構築する予定である」と説明があったが、いつカードが発行されるのか。経済的平等の観点から、スマートフォンアプリだけでなく、カード形式でナカペイを利用可能にするべきではないか。	カード型による決済は、店舗側に二次元コードを読み取る機器を設置する必要があるため、中小事業者では費用負担が大きく、また異なるオペレーションとなることを懸念する声もあることから、現在のところ導入は考えていない。 また、ナカペイは区内経済・産業の活性化、区内事業者の経営力強化を目的としているものであり、事業の費用対効果や事業者側の負担を考慮し、スマートフォンアプリのみでナカペイの発行・決済を行うこととしている。
2	（中野駅周辺のまちづくり） 中野駅周辺など駐輪できないことがある。駅周辺の駐輪場を増やしてほしい。	中野駅周辺においては、歩行者優先・公共交通指向のまちづくりを進めており、中野駅周辺を歩行者優先エリアに位置づけ、自転車駐車場はこの外縁部に配置することとしている。今後とも、歩行者優先の視点で、自転車駐車場の整備を進めていく。 中野駅周辺の区営自転車駐車場について、現在3箇所（収容台数約3,600台）設置している。今後、中野駅周辺自転車駐車場整備計画(令和4年3月改定)に基づき、約6,000台まで自転車駐車スペースを増やしてしていく予定であり、今年の12月頃には、中野三丁目に民設民営の自転車駐車場(収容台数約550台)が開設の予定である。

3	<p>(中野駅周辺のまちづくり) 中野サンプラザの今後の在り方について、区民の多様な声を反映させるため、タウンミーティングの開催機会をさらに拡充し、より多くの区民が参加できるようにして欲しい。</p>	<p>区民の皆さんの声を直接うかがう機会として、タウンミーティングは有効な取組であると考えている。 今後はさらに多くの方にご参加いただけるよう、開催回数や広報手段なども含め、より効果的なものとなるよう検討していく。 中野駅新北口駅前エリアの再整備については、これまでいただいたご意見も踏まえて令和7年度中に見直しの方向性を整理する予定である。令和8年度以降も区民の皆さんへの情報提供やご意見をいただく機会は設けていく。</p>
4	<p>(中野駅周辺のまちづくり) 中野サンプラザについて、次に掲げるいずれかの方法（上記より希望順）により、再利用していただきたい。 ①大規模修繕を行い、今の形を残す。 ②高層部分を縮減し、エントランス大屋根、ホール及び地下施設をリニューアルするとともに、南側広場と一体化して「サンプラザ」のDNAを継承する象徴的な建築物として再生する。 ③地上部を全て解体除去し、公園であり防災広場である「サンプラザ」とする。現地下施設部分を防災やイベント関連の施設として再生する。現サンプラザとわかるモニュメントを設置する。</p>	<p>中野サンプラザの再利用については、「中野駅周辺まちづくりグランドデザインVer. 3」で描いているまちの将来像や、再整備により得られる様々な効果が十分に実現できないことから、考えていない。</p>
5	<p>(中野駅周辺のまちづくり) 駅周辺のイメージ図を見ると緑が少ないように見える。 毎年、夏の暑さは酷暑になり、利用者が暑さによって苦痛を感じない利用が出来るようにしていただきたい。</p>	<p>中野駅新北口駅前エリアにおける緑量については、当該エリアの緑化方針において、既存のみどりの利活用と事業による新植により、現況の約6倍の緑量の創出を目指すこととしている。 都市のみどりは、それによって四季の移ろいを感じられるだけでなく、景観を形づくり、生きものの生育・生息環境をつくり、また防災拠点やレクリエーション・憩いの機能を果たすものとして、必要不可欠な生活環境基盤である。中野に住む人や中野を訪れる人が、みどりに触れ、その快適性や魅力を実感できるよう、みどり豊かなまちの実現に向けて取り組んでいく。 中野区都市計画マスタープランに基づき、区内の主要な公園・道路・河川等のみどりを保全・育成していくとともに、遮熱対策等に資するグリーンインフラとして活用していく。</p>
6	<p>(中野駅周辺のまちづくり) 環境負荷の少ない持続可能なまちをつくるため、中野サンプラザについては、廃材やCO2を増やす解体や建て替えではなく、「リノベーション」についても選択肢としていただきたい。</p>	<p>中野サンプラザの再利用については、「中野駅周辺まちづくりグランドデザインVer. 3」で描いているまちの将来像や、再整備により得られる様々な効果が十分に実現できないことから、考えていない。</p>

② 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み

No.	区民からの意見	区の見解・回答
1	<p>(子ども相談室の移転) 本庁舎のほうが子どもにとっては認識しやすくなると思うが、本庁舎のどこに設置されるのか、ふらっと来て気軽に入りやすくなるためにどのような工夫がされるのかを懸念している。子どもからの意見、アドバイスを聴いていただきたい。</p>	<p>本庁舎内の移転場所については調整中であるが、移転前に周知を行うだけでなく、子どもからの意見を踏まえた表示の掲出等、子どもにとっても子ども相談室の場所が見つけやすくなるよう、周知方法を工夫していく。</p>
2	<p>(長期休業中の食品配付事業) 長期休業中であっても、希望者には給食が食べられる仕組みについて検討いただきたい。</p>	<p>長期休業中の給食提供については、人員体制等の課題や設備のメンテナンス時期と重なるといった事情があり実現困難であるが、生活に困難を抱える子育て世帯が、長期休業中に食の問題を抱えやすいということが社会的な問題となっており、食品配付事業の実施を通じて支援に取り組んでいく。</p>
3	<p>(学習支援事業の対象拡大) 「生活に困難を抱える世帯」の「困難」とは様々であること、また早期介入のほうが良いケースもあることから、受け入れ開始学年は小学1年生世代からお願いしたい。</p>	<p>事業参加者及びその保護者を対象としたアンケートから把握できたニーズ等から、令和8年度は高校生年代への拡大を行うこととした。 引き続き、よりよい支援となるよう事業の効果やニーズ等の分析を行っていく。</p>
4	<p>(いじめ防止動画による啓発) 決して動画を見て終わりというのではなく、いじめは犯罪であり、人の命に関わるものに繋がるということを子どもたちに理解してもらいたい。</p>	<p>小学校低学年向けのいじめ防止動画を制作し、繰り返し視聴したり、授業に活用したりすることで、いじめの定義を正しく理解し、いじめを防止するとともに、子どもたちが良好な人間関係を築くための素地を養っていく。</p>
5	<p>(プレーパーク事業の推進) 江古田の森の常設プレーパークについては、他のプレーパークが整備でき次第、速やかに廃止すべきと考える。 また、ビオトープ改修そのものには反対ではないが、江古田の森公園で活動をしている団体と相談の上で実施可否を決定し実施すべきと思う。 また、プレーパークにおいて自然と触れ合うのは結構な事だが、自然を壊す事のないように細心の注意を払ってほしい。</p>	<p>プレーパークは、子どもが自由にやりたいことができる遊び場であるとともに、豊かな自然環境を生かし、子どもが自然と触れ合えることを基本的な考え方としている。この考え方のもと、事業実施場所の自然環境を大切にしながらプレーパーク事業を行っていくよう工夫していきたい。 併せて、子どもたちが自然を大切にする気持ちを育めるような自然との触れ合いや体験の機会を創出するため、事業内容の充実についても検討を進めてまいりたい。</p>
6	<p>(ベビーシッター利用支援(一時預かり利用支援)の拡充) ベビーシッター利用支援の拡充を実現してほしい。ひとり親で、特別支援学校小学部1年生の息子がいるが、短時間の在宅勤務を主軸に、出社時にベビーシッターを利用してなんとか生活を回しており、5~6万円/月を支払っている。このような利用に支援があれば、収入を息子の将来にかかる費用に回すことができる。</p>	<p>本事業については拡充を予定しており、令和8年度より、ひとり親世帯の児童及び障害のある児童の年間利用上限時間を144時間から288時間に引き上げる。併せて、障害のある児童については、補助対象範囲を未就学児から小学校6年生までに拡大する。 今後もよりご利用いただきやすい制度となるよう検討していく。</p>

7	<p>(ベビーシッター利用支援（一時預かり利用支援）の拡充） どんどん値上がりして、助成額が不足している。 病気によるキャンセルのキャンセル料も対象にしてほしい。子供は急に体調を崩し、未然防止できない。キャンセルすると急に全額自己負担となるのは、非常に使いづらい。</p>	<p>本事業は東京都の補助要綱に基づき実施しているため、補助額については、実際のベビーシッター事業者の料金設定や都の動向を踏まえながら、検討していく。 現在でもベビーシッターの確保が難しい状況がある中、キャンセル料も補助対象とした場合、予約をしてキャンセルというケースが増加することで結果としてベビーシッター利用支援の制度そのものが使いにくいものになってしまう懸念があるため、キャンセル料については補助対象としていない。</p>
8	<p>(ベビーシッター利用支援（一時預かり利用支援）の拡充） 利用後の実績報告について、オンラインで完結してほしい。わざわざ印刷して、郵送で送ると言うのは手間とコストと時間がかかる</p>	<p>オンライン申請について、導入に向けた検討を行う。</p>
9	<p>(中野区乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）) 子どもの安心安全、子どもの権利を保障するため、受け入れる側の保育園体制の環境整備の充実をまずは図って頂きたい。その環境が継続したものになっているかを確認したり、必要であれば支援できるような体制を中野区として持って頂きたい。</p>	<p>乳児等通園支援事業は、令和8年度から国が新たに創設する制度であり、区での実施にあたっては、国の動向を踏まえつつ、子どもの安心安全について十分に配慮の上、実施体制の充実を図っていく。</p>

③ 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまちへの取り組み

No.	区民からの意見	区の見解・回答
1	<p>(エアコン購入費助成事業) 生活保護制度の冷房機器の支給は、対象者や助成額の制限が厳しく、実際の生活実態に即した支援になっていない。特に、2018年以前に生活保護を開始しエアコンのない住環境にある方が対象外となる点や、助成額が現在の物価水準に追いついていない点が問題である。また、生活保護基準以下の収入で生活する非課税世帯（特に高齢者）も支援から漏れていて、これらの方々は、夏季・冬季の厳しい気温により健康被害や命の危険にさらされている。 他自治体では、長野県のように住民税非課税世帯への助成制度が開始されており、生活保護世帯は自己負担なしでエアコンを設置できる。中野区でも、区独自の支援体制を構築し、すべての住民が最低限の室内温度環境を確保できるよう取り組んでいただきたい。</p>	<p>本事業の対象者は、収入面だけでなく、資産についても調査を行い、最も経済的に厳しい環境にある生活保護世帯とした。また、熱中症リスクは高齢者等ばかりではないため、高齢者等に限定していない。このため、近年の猛暑にもかかわらずエアコンを購入できない生活保護世帯について、設置実態を調査し、その結果も踏まえ、故障も含めたエアコン未設置の生活保護世帯を対象としたものであり、対象者の拡大は考えていない。</p>

④ 安全・安心で住み続けたいとなる持続可能なまちへの取り組み

No.	区民からの意見	区の見解・回答
1	<p>(集合住宅(アパート・マンション等)における防災啓発)</p> <p>防災訓練に参加しなかった人についても、特にそうした人こそ災害に備えるための防災マニュアルが必要である。都合が合わず防災訓練に参加できなかった人に限らず、参加しようという意識のない人についても、防災意識の喚起のために防災マニュアルを配布すべきである。</p> <p>また、こうした人々の防災意識を高めるためには、防災マニュアルの配布のみでは不十分であり、併せて他の働きかけを行うことが必要である。</p>	<p>防災マニュアルは、訓練不参加者にも配布できるように、区役所や区民活動センターなどに一定数を配架する。</p> <p>また、マニュアルの配布だけでなく、多くの方に防災意識を持っていただけるよう、区ホームページや防災関連のYouTubeチャンネルを活用した情報発信や周知啓発にも取り組んでいく。</p>
2	<p>(西武新宿線(中井駅～野方駅間)連続立体交差事業に伴う鉄道上部空間活用)</p> <p>西武鉄道が駅利用者および駅周辺地区在住区民のニーズを把握するため、ヒアリング調査の機会を多く確保できるように、中野区側から調整および介入を行うことを求める。</p>	<p>鉄道上部空間の活用については、地域住民の意見を聞きながら活用の方針を策定し、鉄道事業者や東京都と協議・調整を図る。区としては、地域と意見交換し進めることについて、鉄道事業者に理解を求めていく。</p>
3	<p>(新井薬師前駅・沼袋駅周辺のまちづくり)</p> <p>新井薬師前駅周辺など駐輪できないことがある。駅周辺の駐輪場を増やしてほしい。</p>	<p>西武新宿線連続立体交差事業(中井駅～野方駅間)を契機に進められる再開発等のまちづくりに際し、各事業者に対して付置義務に準じた自転車駐車場の設置を要請していく。</p> <p>新井薬師前駅の区営自転車駐車場は、駅北側の新井薬師北自転車駐車場は、収容台数230台で定期利用・1日利用ともに空きがある。駅南側の新井薬師南自転車駐車場については、収容台数70台で定期利用(50台)には空きがあるが、1日利用がコイン式で20台設置と供給が不足し、満車になるケースがあるので、1日利用等の増設を検討する。</p>
4	<p>(中野区公園再整備計画による再整備)</p> <p>再整備の規模・やり方については、再整備すれば良いというものではなく、公園によってはそもそも本当に再整備が必要なのか、やるとすればどこまで、どのような整備が必要か、について公園個々、且つ周辺エリアの特徴により異なる。</p> <p>また丸山塚公園のように、本来であれば区画街路4号線の拡幅途中のいま、何が何でもやらなくて良い公園もある。</p> <p>再整備の時期・タイミングの見直しも含めご検討して頂きたい。</p>	<p>現計画においては、7つの地域に分けた地域のバランスや、公園の設置年度の古いもの、じゃぶじゃぶ池・トイレ・複合遊具など主要施設の老朽化がすすむ公園を対象に整備順序を決めている。</p> <p>再整備計画の見直しにあたっては、再整備の対象となる公園の整備時期等も含め検討する。</p>
5	<p>(公園トイレ等ユニバーサルデザイン改修工事)</p> <p>公衆トイレは特に男性の小用が汚れやすく、利用頻度も高いと思われる。一つの公園に便器一つだけを設置する場合は、洋式便座と別に、男性用小便器を併置すると、便座が汚れて座りにくいという事態が避けられて良いと思う。</p> <p>また、トイレットペーパーの予備ロール補充の際に床に落として汚してしまう事等を防ぐため、予備ロールを2つないし3つ入れられるペーパーホルダの設置を希望する。</p>	<p>ユニバーサルデザインの理念に基づくトイレ改修を進めるとともに、トイレの日常清掃の頻度を増加させ、トイレットペーパーの補充も含め、引き続き利用状況を踏まえた対応に努めていく。</p>

6	<p>(地域公共交通計画推進事業)</p> <p>人の移動が増えると、公共交通を利用して温室効果ガスの排出が増え、交通渋滞を悪化させる。</p> <p>外出困難な人が手軽に外出できるようにする事や、外出する人の公共交通利用割合を増やすべきと思うが、外出率を増やす事を目標とするのは不適切である。人の移動は極力減らす事を大前提に、外出したいのに出来ない人の割合を減らす事や公共交通機関の利用割合を増やす事を目指すべきではないか。</p>	<p>公共交通網が充実している地域でも路線バスの減便や改廃が散見され始めている。公共交通を利用する外出人口が減ると、更なるバスの減便等を招き円滑に移動できなくなる恐れがあるため、公共交通利用による外出率を高めて、現在の公共交通サービス水準を維持していくことが必要と考えている。</p>
7	<p>(区有施設への太陽光発電設備導入調査の実施)</p> <p>太陽光発電については、中国ウイグル地区で製造された製品ではなく、日本製造のものを選択して頂きたい。</p>	<p>今回の調査は、区有施設に設置する製品の選定を目的とするものではなく、対象の区有施設において、実際に設置することができるかどうかを、現地調査等により、施設の築年数、屋根形状、空きスペース等の観点から確認することを目的としているものである。調査結果が判明し、導入調整が整った年度以降、実際に設備機種を選定する時点における区の物品調達方針等に則り、適切に対応していく。</p>
8	<p>(リチウムイオン電池の適正排出・再資源化の推進)</p> <p>区民活動センターなど、ボタン電池回収場所についても拡充してほしい。</p>	<p>ボタン電池については、現在も区民活動センターなどでの回収を実施しており、令和8年度以降も引き続き拠点回収を実施する。</p>

⑥ その他の取組

No.	区民からの意見	区の見解・回答
1	<p>平和の森小学校の跡地は周囲の住宅に近接し、小高い丘の上にあるため、大規模施設を設置した場合、近隣住宅に日陰や圧迫感が生じる懸念がある。新施設は現校舎の高さを超えず、低層で防災に配慮したものとする事を希望する。</p>	<p>平和の森小学校移転後の跡地に整備する建物の高さやレイアウト等については、各種関係法令の規制を踏まえ、令和8年度に地域の意見も聞きながら詳細な検討を進めていく。</p>
2	<p>建て替えを前提とせず、既存建物の部分的再利用や増築も選択肢とし、コストや温室効果ガス排出量を比較した上で改装か建て替えかを決定することを希望する。グラウンドや体育館は極力残し、樹木も可能な限り保存・植樹してほしい。また、旧鷺宮小学校敷地は敷地内を横断できるようにし、北側に出入口を設置してほしい。</p>	<p>旧鷺宮小学校は昭和34年度(1959年度)竣工であり、築66年を経過していることから、既存建物を活用することは現時点では予定していない。旧鷺宮小学校跡地の活用に当たっては、地域の意見を聞きながら、令和8年度から令和9年度にかけて詳細な検討を進めていく。</p>
3	<p>「学校跡地にかかる活用検討」において、文科省が促進する「不登校特例校(学びの多様化学校)」の設置を検討してはどうか。</p>	<p>旧鷺宮小学校跡地及び平和の森小学校移転後の跡地については、複合施設の整備を予定しており、不登校特例校を整備する計画はない。</p>

4	<p>講習会によって詐欺に対する注意喚起をする事自身は良いと思うが、どれだけ丁寧に詐欺の危険を説明しても、詐欺は日々新たな方法が生み出されていて全てを紹介する事は不可能であり、詐欺の手法を沢山聞かされても、全てを記憶に留めておく事はできず、注意喚起は詐欺対策として万全ではない。結局、スマートフォンを普及させる事は詐欺の被害を増やす事につながる可能性がある。持ちたいけれど使い方が判らない、不安、という人向けには講習会は有効だが、補助をしてまで無理にスマートフォンを持たせるのは、詐欺被害を増やす事につながりかねないので止めた方が良く思う。</p>	<p>本事業では、スマートフォンを初めて利用される方にも安心してご活用いただけるよう、スマートフォン購入助成の条件として操作講習会の受講を必須としている。また、購入時とは別に毎月2回の講習会を継続的に実施することで、利用者の不安軽減と被害防止に努める。</p> <p>スマートフォンは、災害時の情報収集や家族との連絡手段として有効であり、高齢者の生活支援に資するものと考えている。今後も、寄せられた意見を踏まえ、事業の適切な運営に努める。</p>
5	<p>中野区の難病患者福祉手当の額は近隣区と比べ明らかに低い水準である。住み慣れた中野区で安心して難病患者も暮らせるよう、近隣区と同水準の手当を希望する。</p>	<p>難病患者の更なる福祉の増進を図るため、令和8年度から難病患者福祉手当の支給額を増額する予定である。</p>

⑦ 検討中の主な見直し事業

No.	区民からの意見	区の見解・回答
1	<p>(「ないせす」及び「なかの学び場ステーション」の廃止) 地域コミュニティアプリを利用できない人にも情報が届くよう配慮してほしい。</p>	<p>文化・芸術にかかる情報については、地域コミュニティアプリでの情報発信に加え、区報や区ホームページへの掲載、区役所1階等での掲示など様々な方法で周知を行っていく。</p>

⑨_その他来年度予算について

No.	区民からの意見	区の見解・回答
1	本五ふれあい公園に、落葉後も花が見られる時期が続くよう梅の木を1～2本植えていただきたい。 植え込みが減っているため、回復に向けた取組をお願いしたい。	現時点で中高木の新植及び実が付く樹木への更新予定はないが、既存樹木の更新がある場合には、将来の維持管理も見据え、快適な公園環境の形成に努めていく。また、サツキ等の低木が欠損している箇所は、利用状況等を踏まえながら適宜補植を行っていく。
2	駐輪場について、区在住の学生は利用料無料など子育て世帯への配慮があるとなお嬉しい。	学生割引など割引制度については、自転車駐車場利用料のあり方を含めて、今後の検討課題と考えている。
3	中野区では猫除けグッズなどの貸し出しが行われており、同様に盗撮・盗聴発見器の貸し出しを実施すべきである。公共施設や学校のトイレ、住宅の工事・修理時やWi-Fi導入時などに盗撮・盗聴機器が設置されるおそれがある。これらは日常的に使用するものではないが、若年女性の住宅などに設置される事例があるとされていることから、安心して暮らすためにも、不安を感じた際に気軽に貸し出しを利用できる体制が必要である。	発見機の性能は「簡易検出」とどまり、発見結果の正確性が保証できないこと、盗撮・盗聴のおそれを認識された場合は犯罪被害のおそれがあることから速やかに警察に相談・届け出ていただくべきと考えことから、区による発見機の貸し出しについては考えていない。
4	歩道橋整備事業が令和8年度予算の主な取組に含まれていないが、令和8年度に設計や工事をするのであれば「主な取組」に記載し区民意見を聞くべき。 校庭や周辺の樹木は伐採を最小限にし、移植や歩道橋緑化を検討してほしい。植樹帯を潰す計画は再考し、通路配置や駐輪スペースを活用するなど工夫できないか。校庭整備と同時施工しなかった非効率を分析し、再発防止策を講じるべき。	令和8年度予算では「主な取組」として掲載はしないが、引き続き区民の意見を参考とし、状況を分析することで学校環境の整備に活かしていきたい。 歩道橋の整備について、令和8年度は予備設計を行い、詳細設計に必要な諸条件を整理していく。また、整備にあたっては周辺環境への影響も配慮し検討を進める。
5	政策7に不登校の児童・生徒・保護者へのサポートがないのはなぜか。	不登校の児童・生徒および保護者への支援については、これまで体系的な対応施策を整備してきているため、令和8年度予算では「主な取組」として掲載はしないが、今後も引き続き取組を進めていく。
6	中野駅にエレベータを設置していただきたい。	現在進められている中野駅駅舎の整備の中で、設置されることとなっている。